

第 1 回 検討委員会での主な意見とその対応について

日 時：令和 5 年 9 月 1 日（金） 14 時～16 時

場 所：富山県防災危機管理センター 研修室 3-A

出席者：石田委員、川本委員、炭谷委員、瀬川委員、高野委員、八木委員、好川委員（五十音順）

主な意見	対応等
<p>○ウェルビーイング住宅のあるべき姿を、県のウェルビーイング指標の考え方に落とし込んで課題を整理すれば、県民にわかりやすく伝わるのではないか。</p> <p>○「ウェルビーイング」ということでは、県民の幸福や健康が第一。</p> <p>○「ウェルビーイング」は、人によって捉え方が異なり、一つに決めるのは難しい。</p> <p>○生き方は人それぞれなので、一人一人のニーズを考える必要がある。</p>	<p>▶富山県ウェルビーイング指標で整理する。</p>
<p>○性能水準では健康に直結する外皮性能がポイント。国より上の水準を目指さないと、将来県はレベルの低いものを推奨していたということになる。基準としては民間基準のHEAT20のG1、G2、G3相当が妥当。</p> <p>○高いレベルの水準はG2ぐらいが現実的なところか。</p>	<p>▶性能水準案に断熱性能として盛り込む。</p>
<p>○断熱性能と気密性は重要なのでセットとすべき。</p>	<p>▶性能水準案に気密性能を盛り込む。</p>
<p>○富山県は伏流水等の自然エネルギーが豊富。太陽光発電以外の創エネについての考察は行うのか。</p>	<p>▶創エネは導入が現実的な太陽光発電を検討する。また、再生可能エネルギー熱利用（太陽熱、地熱、木質バイオマス熱）も検討する。</p>
<p>○新築ではコストを抑えたいという思いがあり、太陽光発電設備や蓄電池は補助金がないと導入は困難。</p>	<p>▶太陽光発電及び蓄電池の補助制度は既にあり、併用を想定している。</p>
<p>○太陽光発電はオプションにする方法もある。断熱性能の最低基準は等級 6 相当が現実的だと思う。</p>	<p>▶性能水準案で検討する。</p>
<p>○県産材の利用はコスト的になかなか難しい。</p>	<p>▶取組みやすい規模感で性能水準を設定する。</p>
<p>○新築に加えてストックも重要。</p> <p>○高齢者は住宅にお金をかけにくい。老朽化が進むと空き家になった時に価値がなくなる場合が多い。再利用可能な状態を維持しなければならない。</p> <p>○新築の性能水準をそのまま散居村等の古民家のリフォームに適用するのは難しい。</p> <p>○既存の部分改修は大きなテーマだ。</p>	<p>▶既存住宅改修の性能水準の素案で検討する。</p>

<p>○最近は職人が不足しており、若者の育成が必要。技術者の技術講習会や勉強会を開催してほしい。</p> <p>○現場での施工で差が生じるため、施工業者の技術力向上のための勉強会が必要。</p>	<p>▶ 推進方策案に「講習会の開催」として盛り込む。</p>
<p>○省エネの計算ができないところには支援しないと普及は難しい。</p>	<p>▶ 推進方策案の「事業者に対する取り組み」で検討する。</p>
<p>○寝室を18℃以下にならないようにするだけでも、ヒートショックや血圧などの問題が解決される。健康と寝室温度の関係をもっとPRする必要がある。</p> <p>○太陽光発電や維持管理のし易さ、防災、防犯、安全安心な暮らしなど、ウェルビーイング住宅のメリットをしっかりと伝えてほしい。</p> <p>○電気代が値上がりしており、太陽光発電を勧める環境は整っている。</p> <p>○富山県では住宅を建てる方が若いのが特徴で、健康のための家づくりという意識がない。</p> <p>○鳥取県のように「健康」を前面に出すとよい。「ウェルビーイング」という言葉は、色々な業界が繋がりやすいキーワードになる。</p> <p>○消費者に、健康のための断熱や太陽光発電のメリットなどの情報を届けることが大切。</p> <p>○太陽光発電について、特に若い世代は寛容。</p> <p>○富山県は共働きが多いので、日中太陽光で発電した電気を蓄電池に貯めておき、夜間に風呂、台所で使用するという形は非常に効率的。</p> <p>○富山の生活スタイルにおいて、蓄電池は今後住宅の大きな武器になる。電気自動車から住宅へ電気を送る技術も出てきている。</p> <p>○わかりやすい数値を設定した方がよい。県民にわかりやすく発信している鳥取県を見習うべき。</p>	<p>▶ 推進方策案に「住宅情報の提供・発信」「住教育の推進」として盛り込む。</p>
<p>○高齢者世帯の場合は、寝室、風呂、トイレのみの断熱化でも補助対象になれば取り組みやすい。住まい方に合わせた補助制度が望まれる。</p> <p>○高断熱を推奨するからには補助金もセットでやるべき。</p> <p>○性能水準にG2レベルを設定した場合、富山の家は窓が多くて広いため、200万円近く必要。</p> <p>○G2レベルの基準が生きるかどうかは補助金次第。ただ、選択肢としては設けてほしい。</p>	<p>▶ 推進方策案に「助成制度の創設」を盛り込む。</p>